

日本留学説明会報告～Doon University～ 平成 29 年 4 月 28 日
＜訪問者：在インド日本大使館 児玉書記官・立命館インド事務所 芦田所長＞

第 5 回日本留学説明会を、インド北部に位置するウッタラカンド州（州都デラドゥーン）にて開催しました。

デラドゥーン空港から車で約一時間、豊かな自然に囲まれた Doon University は、2009 年創立、学生数約 2000 人の州立大学です。言語学部日本語学科は生徒数約 75 人が在籍しており、日本語の他、日本の歴史や文化も英語で教えている 2013 年開設の新しい学科で、現在は JNU（ジャワハルラール・ネルー大学）の指導を受けて行われているものの、将来は独自の日本語教育メソッド構築にも取り組む意向とのこと。



説明会は午後 2 回に分けて開催されました。



（写真上：本説明会ポスターが掲げられたメインゲート／写真左：Doon University メイン校舎と敷地内あちらこちらに駐車されたバイク）

■1回目：日本語学習者対象（12:00-13:00；参加約 50 名）

児玉書記官より、専門学校や日本語学校への進学によるメリットなど、大学院進学にとどまらない、幅広い日本留学の可能性について紹介されました。また、芦田所長からは、日本の大学について、キャンパスライフのイメージが膨らむよう各種ビデオを織り交ぜながら紹介されました。



（写真：第1回説明会より 日本大使館児玉書記官による説明の様子）

■2回目：全学対象（15:00-16:30；参加約 100 名；午前午後両方参加を含む）

Registrar である Dr. B.M. Harbola の挨拶で開会、大学院進学に若干重点を置いて説明を行いました。



（写真：第2回説明会より 日本大使館児玉書記官による説明の様子）

■説明会后個別 Q&A（17:30 頃まで）

心理学、マスコミ研究また芸術系への進学に関する質問が寄せられ、日本のアニメ体験が日本語学習のきっかけとなることの影響かとも感じました。学生の多くは、世界に目が向いている学生が多い IIT 系と比較すると、地元にとどまり貢献するという考えの学生が多いような印象を受けました。

